

強者の戦略

こんにちは、地理の南です。久しぶりにコラムを投稿することにしました。テーマは秋吉台探訪です。きっかけはNHKスペシャル「巨大地下空間 龍の巣に挑む」を見たことでした。内容は、中国の貴州省にある巨大な洞窟を探検、そしてその成り立ちを探る番組でした。基本的には石灰岩でできた大地が雨によって侵食され、中に空洞が生まれることで形成される、ごくごく一般的なカルスト地形でしたが、その規模と、内部がライトアップされた時の荘厳さに魅了され、ぜひ見てみたいという気持ちになりました。ですが、この場所は国家に申請し、3年かかりで許可を得たと番組で言っていたくらい到達困難な場所であり、昨今のコロナウイルスが蔓延している状況で中国に行くという選択肢も取りにくいので、ここは日本有数のカルスト地形がある秋吉台を見に行こう、という流れで行動が決まりました。

できるだけ早く起きて出発しようと思っていましたが、結局 10:00 ぐらいに出発することになり、昼ご飯は新幹線の中で食べることになりました。新大阪駅で弁当を選ぶ暇もなく、車内販売でミックスサンドを買いました。たまごはぱさぱさでしたが、カツサンドはおいしかったです。最後にカツサンドを残すべきでした(笑)。ちなみに山陽新幹線の車内はガラガラでした。



秋吉台の最寄り駅の一つである新山口駅に到着したのは 12:54 でした。秋吉台行きのバスは 13:25 発車だったので、少し駅の南北を歩いてみることにしました。その結果気づいたことは、相当 rural 感がある町である、ということでした。日本語で表現す

ると語弊があるかもしれないので、英単語を用いました。意味が分からない人はいないと思いますが、知らなかったら調べてください。北に行っても南に行っても大してお店もなく、すぐ何もない町になります。駅の下のレストランも少なく悲しくなります。そして時間が来たのでバス停に向かいます。



私のような門外漢では吟味できないような中原中也の文言がバス停に書かれてありました。皆さんは「あはれがる」ことはできましたか？

40 分ほどバスに乗り、終着駅である秋芳洞で降りることになります。料金は 1170 円です。さくら山並みバスで西宮北口から有馬温泉まで

行く道りと同じ感じだと思ってください(分かりづらい...)。乗客は私を含めて 4 人で、初老の女性が途中で降りたので、秋芳洞まで来たのは 3 人でした。私以外の女子 2 人は受付で何やら話し込んでいました。秋芳洞内のエレベーターがコロナウイルスの影響で使用禁止になっていて、秋吉台に行くためにはバス、自転車、電動機付き自転車のいずれかを利用してほしいとのこと。ちなみに、地上が秋吉台で、地下空洞が秋芳洞です。ちょっとしたパラレルワールドです。女子 2 人はタクシー乗り場に向かっていったようでした。そして、私にも同じ内容がアナウ



強者の戦略

ンスされたのですが、選択肢は1つです。自転車です。タクシーや電動機付き自転車等の文明の利器に頼っているようでは、当地の魅力を余すことなく堪能することはできない、誰しもそう思いますよね？違います？私は迷うことなく自転車を選択しました。料金は1000円です。電動機付き自転車は2000円です。そして、受付の人に道順を聞くのですが、最初に見えるT字路を左に曲がって直進し、展望台が見えたらそこに向かって進んでくださいとのことでした。ほうほう、簡単じゃないか、と軽く納得していざスタート。

ところが、行けども行けどもT字路がありません。もしかしたら十字路と聞き間違えたのかもしれませんが、1~2kmの距離だと聞いていたのに、表示は3km。



みなさんには傾斜のきつさが分からないと思いますが、ずーっとこの傾斜が続くので、自転車をこぐことができなくなって、半分ぐらいは押しながら進みました。受付の人が、「慣れている人だと5~10分で行ける」と言っていたのに、「これはどういうことなのだ！」と憤慨しながら登りました。しかも、こんなうっそうと茂った森林地帯ですよ。クマとか出てきたらどうするんや、とか疑心暗鬼になります。一応、クマが出てきた想定をしておきました。まず、茂みからクマが出てくる→目を見つめて近づかせないようにする→自転車(マウンテンバイク)の方向を転換する→逃げる→クマダッシュで追いつかれそうになったら後ろ足でクマの眉間を足蹴りする→光る眼鏡を投げ捨てクマの注意をそらす→猛スピードで離脱。

これ、きっと最適解です。結局、クマは現れず、30分かけて秋吉台に到着いたしました。ただ、マウンテンバイクのサドルって狭いじゃないですか。全然慣れてなくて、停車するときに段差で尾てい骨をガーンてしこたま突き上げられて、今でも尾てい骨痛が続いております。ここからはしばし、風光明媚な秋吉台をご堪能ください。



やっと到着



窪地というか石灰岩ばかりが目立つ



何か威厳すら感じさせます

強者の戦略



復元中って具体的には何を？



全体像



奇跡の2本松？



見えづらいけど窪地



文明の利器

20～30分くらい堪能したら下山することを決めます。マウンテンバイクの返却時間が16:15と決まっていることもあるし、降りてから秋芳洞も見学しないといけないので、ここに長居することはできませんでした。ただ、下山の爽快感は半端ないですね。30分かけて登ってきた道のりを、自動車と同じようなスピードで駆け下るんですよ。ものの5分で下山することができました。ツールドフランスで山下りしているようなシーンを思い描いてもらったら近いと思います(普通、思い描けない…)。

さあ、下山したら秋芳洞です。今頃になって説明しますと、秋吉台は石灰岩質の大地が雨に浸食されて形成された地形で、小さな窪地と石灰岩が見えます。秋芳洞は、大地の中に鍾乳洞が出来て、雨水によって溶かし込まれた石灰成分たっぷりの水滴によっていろんな地形ができます。水滴が落下する天井には鍾乳石ができ、床面には石筍(せきじゅん)ができます。



趣ありすぎ

強者の戦略

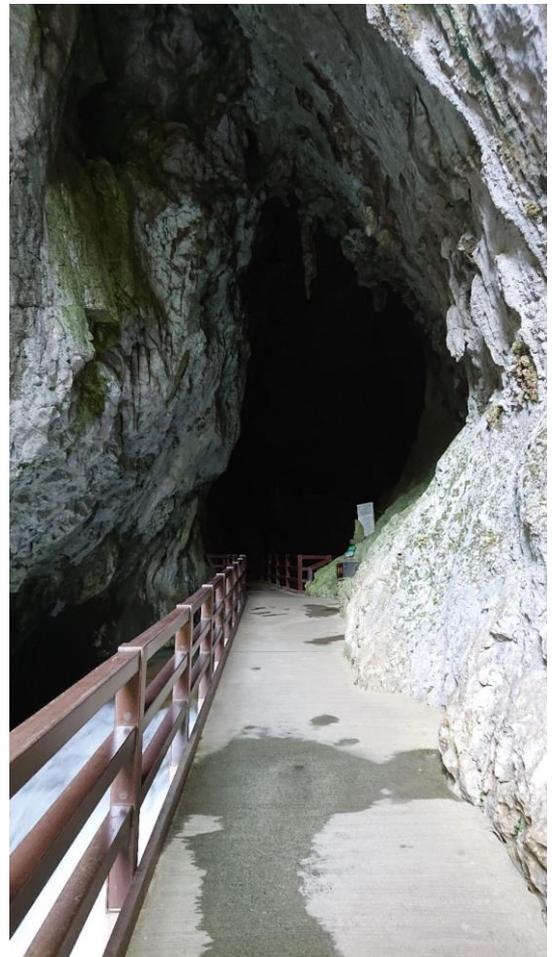
ここからはしばし、深山幽谷な秋芳洞をご堪能ください。



水量がすごい



このたたずまいに感動



この暗闇に入るんですよ。びびりますよね。

強者の戦略



中はそこそこライトアップされています



百枚皿



洞内富士



休むこともできます



大黒柱にしては細い？

(上からの水滴と下にたまった水滴が結合)



黄金柱

強者の戦略

いかがだったでしょうか？想像していた数倍も感動しました。洞壁には所々ボタンがあり、押すとその付近の地形の成り立ちを音声で解説してくれます。大半の人は押すだけ押して話半分で立ち去っていましたが…。あと、上から水滴が滴ってくる場所がありますし、雨が降っているんじゃないかと思うほど水滴の量が多い場所もあります。暗いので足を滑らさないように気を付けて観光しましょう。帰り道のお土産売り場を見ると、ソフトクリームが人気みたいです。



おなか壊すのが嫌なので食べることはせず

再びバスに乗って新山口駅に向かうことにします。疲れ果てて結構寝てしまっていたと思います。昼ご飯がミックスサンドだけで相当おなかがすいていましたが、ちゃんとしたお店がないので、改札前の小さなうどん・そば屋で肉そば&いなりを頼みました。コロナウイルスの影響で営業時間が短縮になっていて、18:00で終了でした。



味は普通

最後に新山口駅のお土産売り場でいろいろと山焼きだんごを買って帰ることにしました。山口県では豆子郎という名前で売られているういろうが有名だそうです。山焼きだんごに関しては、秋吉台では、毎年2月に大規模な山焼き行事が行われ山焼きが終わると、本格的な春が訪れます。昔から、山焼きの日には家々がもち米で作った自慢のきな粉団子を手弁当にして持ち寄ったとのこと。この「山焼きだんご」はその光景をイメージして作られたそうです。



豆子郎(美味！！)

今回初めて秋吉台&秋芳洞を訪れましたが、非常に満足度の高い観光が出来たと思います。みなさんも機会があればぜひ行ってみてください。